

診療報酬の特例加算の影響		2023年4月	
マイナ保険証対応病院で 受診時の追加負担	現在	~12月末	
従来の健康保険証	初診時 12円	18円	▲6円
マイナ保険証	初診時 6円	6円	▲0円
※窓口負担が3割の場合			
再診時 0円	6円	▲6円	▲6円
再診時 0円	0円	▲0円	▲0円

政府は従来の健康保険証での診療料を来年4月から12月末まで特別的に値上げする方針を固めた。窓口負担3割の場合、初診と再診時に現行よりそれぞれ6円上乗せする。マイナ・バーカードと一緒にした「マイナ保険証」は据え置く。対象はマイナ保険証を受け付ける医療機関で、カード普及と病院の対応を促す狙い。関係者が20日明らかにした。現行でも従来保険証の支

払額の方が高いが、価格差が広がる。マイナ保険証を持たないと負担が重くなり、強引な誘導策に反発も起きそうだ。

加藤勝信厚生労働相と鈴木俊一財務相が21日に協議して決める見通し。

マイナ保険証の導入を推進するためには、医療機関が受け取る診療報酬を加算していく。来春からこれを拡充し、対応している医療機関の収入を増やす。従来の保険証

# 従来保険証改訂6月上げ

## 政府、マイナ普及へ特例

来春から

で受診した場合、初診時に現行12円から6円増の18円にする。現在は負担がない再診時も6円にする。マイナ保険証は6円で換算され、再診もゼロのままとする。

政府は従来の保険証を2024年秋に廃止する方針。カードの交付率は人口の5割強で、マイナ保険証を取得しているのは人口の3割弱にとどまっている。医療機関側も読み取り機の設置といった対応が必要だ。

方向で調整する。近々中央社会保険医療協議会（厚労相の諮問機関）で具体的な議論を始める。

来春からの報酬加算の特例を実施し、必要なシステムの導入を後押しする考えだ。